

# ニッキン投信情報の連載『黄金時代到来！？なるほどインド講座』の第2弾が公開されました！

ニッキン投信情報（7月8日号）にて、弊社取締役 営業マーケティング本部長の面谷 祥友による連載『黄金時代到来！？なるほどインド講座』の第2弾が公開されました。

本連載は計12回（毎月1回）を予定しています。第2回目となる本紙では“下院総選挙の振り返りと、政治・議会制度”について寄稿させて頂きました。

ニッキン投信情報 2024年7月8日発行 第1321号 (1)

## ニッキン投信情報

発行所 日本金融通信社 © 2024 〒102-8677 東京都千代田区九段南4-0-15 電話 03(3281)9971  
週刊（毎週月曜日発行） 購読料（別冊込み）1ヵ年 138,288円（税込）

### CONTENTS

**08 資産ファンドの5年間騰落率（2024年5月末）**  
526.6%の「野村世界業種別投資（世界半導体）」がトップ  
2024年5月末基準で、銀行、信金等で取り扱っている資産ファンド2,011本の5年間騰落率を算出した。資産ファンドの5年間騰落率ランキングトップ3  
騰落率が最大だったのは、野村「野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）」で526.6%。大和「FreeNEXT FANG+インデックス」が500.2%、大和「FANG+インデックス・オープン」が499.0%で続いた。

運用会社	ファンド名称	騰落率 (%)
野村	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	526.6
大和	FreeNEXT FANG+インデックス	500.2
大和	FANG+インデックス・オープン	499.0

**03 適正水準報酬とフィデューシャリー・デューティ**  
**05 投資家信頼回復に動く イオン銀行 イオンモール日の出店 山中興一さん**  
顧客理解の土台は情報収集  
**07 投資家信頼回復に動く 皇林中央会席富山支店 系統プロモート班 原田友輔 調査役**  
J A が切迫感を感じる環境をつくる  
**68 ファンド別島 広島県**  
新NISA対応で営業体制充実  
**72 新橋集積・設定ファンド**  
あおぞら「あおぞら・新グローバル・プレミアム・ファンド（当初準備期間付、限定追加型）2024-07「ぜんどうプラス2407」など2本  
**73 証券会社情報** 七十七組、宮崎組、南日本組、京都信金、水島信金  
**75 運用会社情報** 大和、フランクリン、セゾン  
**76 黄金時代到来！？なるほどインド講座（第2回）**  
下院総選挙の振り返りと、政治・議会制度  
イーストスプリング・インベストメンツ 取締役 営業マーケティング本部長 面谷祥友  
**78 英紙で考える金融（第92回）** 自主規制機関（SRO）とは  
Patrick E. Connolly / 木久保良夫  
**79 シン・直教知事のつみたて投資（第41回）** 株価と基準価額は毎日見るべし？  
日本つみたて投資協会 代表理事 太田 創

「ニッキン投信情報 別冊 金融機関別 資産ファンドの騰落率一覧」は、下記URLまたはQRコードからデータを取得できます。 <https://www.nikkinc.jp/toushin/touraku.html>

NIKKIN INVESTMENT TRUST NEWS

本連載記事については  
2ページ目をご覧ください。

### <当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。○当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

連載



インドでは5年に一度の下院総選挙後、モディ首相が3期目の政権をスタートさせました。3期連続の首相就任は初代ネルー首相以来、史上2人目です。6月4日の開票では、それまで単独過半数を占めていた与党インド人民党（BJP）は前回（2019年）選挙の303議席から大きく減らし240議席となりました。結果的には与党連合である国民民主同盟（NDA）が過半数を確保し、モディ氏は政権を維持しています。

首相と大統領

実はインドには首相と大統領が存在していることはあまり知られていません。憲法上の国家元首としての大統領は、いわば形式的、象徴的な存在で、実質的な行政は首相と内閣が執り行っています。大統領は首相の任命権を持っており、下院の第一党から首相を任命するのが通例です。

28の州と8の直轄領

インドは、28の州と8つの連邦直轄領から成る連邦共和制国家です。各州は州議会から選出される州首相、連邦直轄領は大統領が任命する行政官が、それぞれ実質的な行政権限を持ちます。モディ氏は、首相就任前の2001年から2014年までインド西部のグジャラート州で州首相を務めました。州首相時代には電力供給や道路・港湾などのインフラ整備を進め、外資を含む製造拠点を州内に誘致したことで同州は年率平均10%を超える経済成長を果たし、その功績は「グジャラートの奇跡」としてインド国民に知れ渡りました。この実績を基に「次は国政レベルでの経済成長を」と、首相候補として名乗りを上げた2014年下院総選挙では、モディ氏の圧倒的人気を背景にBJPは30年ぶりの単独過半数議席を獲得したのです。

二院制

インドの議会は上院と下院から成

る二院制です。日本の衆議院と同様に下院は上院に対する優越権を持ち、下院議員は国民投票による直接選挙で選出されます。一方、上院は地方政治の代表としての性格を持ち、州議会議員による投票で議員が選出されます。各地方で支持基盤を持ちながら、中央行政においては影響力をあまり持たない地方政党も多数存在しています。今回の下院総選挙での獲得議席数が、1、2議席といった少数政党も多く、歴史的にインドの国会は単独政党による過半数議席獲得が難しいとされています。

今後の注目点

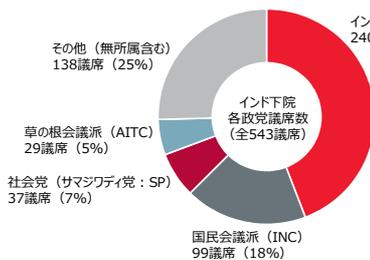
通例では7月に新政権による国家予算案が発表されます（毎年2月に国家予算案が発表されますが、下院総選挙が行われる年は、慣例的に2月は暫定予算案、新政権発足後に正式な予算案を発表）。モディ首相は連合を組む友党との調整や、今後の地方州議会の選挙に向けた支持獲得のため、農村部の所得向上や雇用創出を意図した施策を展開せざるを得ないとの見方もあります。こういった施策とバランスを取りながら、これまでの製造業振興、インフラ整備に重点を置いた施策を減速させず引き続き注力できるのか、財政改善が進捗するのか、といった点には注視が必要です。

なお、短期的には選挙のような政治イベントに市場は影響を受けますが、長期的には人口動態に支えられた消費拡大、所得向上など、インドのマクロ経済動向、経済成長のストーリーは不変です。インド市場への投資は、目先のイベントよりも、より長期的な観点を持ち続けるようにしていただきたいと思います。

（執筆：イーストスプリング・インベストメンツ

取締役 営業マーケティング本部長 面谷祥友）

図表 2024年 インド下院総選挙における各政党の議席獲得状況の振り返り



- ▶ 与党となったインド人民党 (BJP) は単独過半数を割り込むも、240議席と他の政党を大きく引き離す
- ▶ 最大野党の国民会議派 (INC) は99議席
- ▶ 5%以上の議席を獲得した政党はわずか4政党
- ▶ 5%未満の「その他 (無所属含む)」は37政党

出所：インド選挙委員会 (ECI: Election Commission of India) のデータ (2024年6月14日時点) に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。グラフ中の%は543議席に対する比率。本稿は執筆時点での情報に基づく筆者の個人的な見解であり、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の公式見解ではありません。